

北信タクシー株式会社

「心でつながるタクシードライバー」

[運送・サービス業]
一般乗用旅客自動車運送事業
(タクシー業)

代表者名：代表取締役社長 駒津健一
従業員数：21人
創 業：昭和45年
住 所：須坂市金井原（本上町）1507-1
T E L：026-245-5353
事業内容：一般乗用旅客自動車運送事業
(タクシー業)
給 与：19万～30万（歩合給込）
<https://www.hokutaxi.com/>

須坂市本上町に本社がある北信タクシー株式会社は、昭和45年に創業し現在2代目となる駒津健一社長が社員21人とともにお客様に愛される会社を目指し営業しています。本社と須坂駅前乗り場を拠点に県立総合病院「信州医療センター」にもドライバーを配置しています。北信タクシーは観光にも力を入れており、長野県認定「さわやか信州観光ガイドタクシー」免許を持つドライバーも活躍しています。



●「ありがとう」の言葉が励みになる仕事

現在は事務や配車係の5人とドライバー16人が勤務しています。社員の年齢は30歳代から70歳まで。最高齢の70歳ドライバーは長年の勤を働かせ、乗車したお客様を特殊詐欺から守り、犯人検挙に貢献したことで須坂警察署から感謝状を受賞しました。車内はお客様と座席が前後なので違和感を察知するのは難しいですが、長年続けていると最初の言葉がけによるコミュニケーションで様子がわかるそうです。

「ほとんどは電話による注文です。年配の方や移

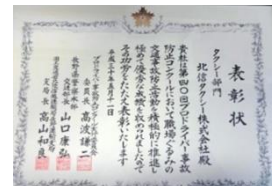


動に困っている方々のお手伝いとして、自然と社会貢献にも結びつき大きなやりがいを感じられます。お客様の中には予約して定期的に利用する方もいらっしゃいます。お客様からの「ありがとう」の一言が大きな励みとなっています」

「勤務形態は、基本的に朝から夜中までの時間帯の中でシフトが組まれていて6日に1日が公休となります。家庭環境など希望によっては朝から夕方までの日勤や短時間勤務の相談にも応じています。配車率は80%で給与は安定していて、本人の努力次第では歩合給も加算されます。ドライバー同士は同じ立場なので役職や年齢などを感じないと思います」

「旅館に宿泊されるお客様の送迎をはじめ、ご相談に応じて市内外をまわるモデルコースの提案も行っています。日本の滝100選の米子大瀑布には紅葉シーズンの3週間ほどで約2,000人のお客様をご案内しました」

北信タクシーは長野県プロドライバー事故防止コンクールで毎年受賞しており、昨年度（2017年度）も最優秀賞を受賞しました。このように日々の事故防止に努めるプロドライバー集団として、またお客様の身の安全を守る「地域の見守り役」の役目も果たしています。



●人との出会いが楽しみ

北信タクシーでは現在2人の女性ドライバーが活躍しています。市内のタクシー会社の中でも女性ドライバーはこの2人だけ。このうち呉英子（オヨンチャ）さんは韓国出身で18年前に来日し、長野県での生活は11年目を迎えます。韓国にいた時は観光会社で現地ガイドとして働いていました。一年間日本語学校に留学した経験もあって日本語がとても上





手です。勤め始めて半年余りですが、言葉の壁を乗り越えて普通自動車2種免許を取得した努力家です。今ではお客様から親切で感じが良いと指名を受けるまでになっているそうです。

「70歳まで働けるといふドライバー募集のチラシを見て応募し、2回ほど面接をして採用になりました。もともと車の運転は好きでしたが普通自動車2種免許は持っていなかったため勉強して取得しました。取得費用は会社が全額負担してくれました」

「複雑な道はお客様が教えてくれることもありませぬ。中には差し入れをして応援してくれる方もいます。須坂市のお客様は優しい人が多いですね。時間によっては帰り道が真っ暗で困る時もありますが、会社のタクシーはすべてカーナビ付きなので安心です。配車係からGPSで指示をもらえるので心配ありません」

「お客様には足の不自由な方やお年寄りが多いです。荷物を持ったり会話の聞き役になることも喜ばれると感じています。お客様からの「助かりました」「ありがとう」が嬉しいです。タクシードライバーは接客の仕事で、人と人とのつながりを感じられます。健康である限りずっとこの仕事を続けていきたいです。これからも人との出会いが楽しみです」終始笑顔で話す呉さんの表情がとても印象的でした。

●移住して第2の仕事人生を

新潟県から須坂市に移住した山本賢さん60歳は、移住後に採用となり配車係として1年3ヶ月余りが経ちました。奥様が飯綱町の出身だったので周辺の物件を探していたところ、須坂市内に見つけて引越されました。



「北信地方は東京へも名古屋方面にも交通アクセスの良さを感じていました。須坂市は比較的雪が少なく景観も良くて住みやすそうだと思っていました。以前住んでいた新潟市は雨が多く曇りがちでした。

反対に須坂市は、晴れの日が多く気分も明るくなる場所です。新潟市は大都市だったので自家用車が要らない生活でした。そのため持っていた自動車免許が切れてしまい、もう一度免許を取り直してからの就職活動になってしまいました」

「北信タクシーに応募したのは、娘が新潟県のタクシー会社で配車の仕事をしていて同じ仕事をしてみたいと思ったからです。60歳を過ぎ、これから80歳までの生き方を考えた時に自分を変えてみたいと思いました。以前は証券会社に勤め、スーツで働く環境でした。就職活動中には「スーツで働いていた人には難しいですね」と言われ苦い経験もしました」

「働き始めの頃は、市内の町名が覚え辛かったり場所の位置を把握するのが難しかったです。方言やイントネーションの違いをお客様から言われて気が付くこともありました。配車の仕事はお客様との電話対応が中心で、受けた注文は無線でドライバーに指示を出します。今までの経験から北信タクシーは人間形成をする職場としても良い場所だと思います」

「須坂市に知り合いはいませんが、いろいろな方と出会いました。今は存在を認めてもらえることが嬉しいです。駒津社長に出会えて良かったですし、須坂市に住んで良かったです」

●タクシードライバーを募集しています

「お客様に満足と感動のサービスができる仲間を募集します。タクシードライバーは定年後も健康であれば働ける仕事です。ドライバーになりたいという思いがあれば直ぐに運転経験を活かすことができます。もちろん女性も働けます。接客が好きな人や運転が好きな人にはふさわしい仕事だと思います」

呉さん、山本さんのように人とのつながりに感動し人に喜ばれる仕事に携わりたいという方、何よりも車の運転が好きだという方は北信タクシーで大きなやりがいを見つけてみませんか。

(2018年12月インタビュー)